

佐呂間町立佐呂間中学校に「やすまある」が設置されました

「やすまある」入口



佐呂間特産かぼちゃの置物も



「やすまある」で和やかな雰囲気

当共済組合の「教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業」を活用し、令和5年9月21日に、北海道佐呂間町立佐呂間中学校に「やすまある」が設置されました。

今回、当共済組合の事業を活用することで、産休や育休明け教職員の搾乳等や全教職員のリフレッシュのためのスペースを整備したり、必要な備品を購入したりして、このルームを設置しました。

ルームの内装などは、教職員が自ら考案したとのことで、「自分たちのスペース」として快適に過ごすための工夫が随所に見られます。

利用されている先生からは、「職員室とは違った空間で、他の教員と話ができるのはありがたい。教員同士の交流も広がった。」「こういうスペースがあることは、安心して職場復帰できるきっかけになる。」という感想をいただくことができました。

「先生方の利用はもちろんのこと、コロナ禍後の学校は、再び地域に向けて開いていくこととなるので、いろいろな可能性があるスペースとして、利用していければ」と安田校長も話されていました。